

認を経て決定される。この決定された予算に基づいて執行される。予算決定後の状況変化に対応するために、年1回、予算の補正を行っている。

**点検・評価** **長所と問題点**

予算の執行が年度末に偏ること、補正予算作成のタイミングが適切でないなどの問題もあるが、平成15年度から学科予算が大幅に充実され、学生の演習支援が円滑に進むことが期待されている。

大学内での予算案作成から運営委員会での了承までの期間が短く、教務、学生部等の委員会での議論と各課作成予算案との一致度についての評価が不十分である。

**将来の改善・改革に向けた方策**

今後は、大学内での予算案作成段階において、各種委員会、学科が積極的に関与することが必要である。

#### 4 財政公開

##### (1) 財政公開の状況とその内容・方法の適切性

**現状の説明**

東京情報大学を含む学校法人東京農業大学の財務状況に関する情報は、学校法人会計基準に基づいて作成され公開されている。資金収支計算書、消費収支計算書等の情報は「職員広報」により学校法人東京農業大学の教職員すべてに周知されている。

**点検・評価** **長所と問題点**

「職員広報」により報告されている資金収支計算書、消費収支計算書等の情報は、学校法人東京農業大学の全体についての情報であり、大学単独での詳細な情報は含まれていない。法人全体の中での本学の厳しい状況を学内関係者に知らせるための更なる工夫が求められる。

#### 5 私立大学財政の財務比率

##### (1) 消費収支計算書関係比率及び貸借対照表関係比率における、各項目毎の比率の適切性

**現状の説明**

平成13年度の学校法人東京農業大学の消費収支計算書関係比率及び貸借対照表関係比率は次のとおりである。